

1 喜多方高校と喜多方東高校の統合について

（1）統合スケジュールに関すること

- 県はスケジュールありきで進んでおり、既に校名の検討も進められている。懇談の意義や委員の意見が反映されないなど疑問に感じている。
- 県はスケジュールありきで進めている感じを受けている。
- 県の進め方はスケジュールありきで、中高一貫教育の件でも聞く耳を持たない感じである。懇談会に出席しても無駄な感じを受けている。
- 単位制・コース制を導入するためには、多くのことを詳細に整理していかなければならない。短時間にできることではないと感じる。

（2）統合校の魅力化に関すること

- 特色を出すためには、会津地区では設置されていないスポーツのコースの設置を望む。
- スポーツ科は是非進めてほしい。
- 単位制の導入は魅力ある高校としていく一つの手段であると思うが、単位制で大事なことは、自分の将来を見据えて2年生、3年生での科目を選択することである。また、生徒の要望に応えるためには選択科目数は多くなるため、教員の配置や設備の整備などがしっかりできることが保証されなければならない。
- 単位制・コース制にすることで教員の人数は増えるが、指導の質が確保できるか不安に感じている。県にはしっかりした教員の確保を望む。

（3）中高一貫教育導入に関すること

- 中高一貫教育が子どもたちにとって良いものであるならば、時間をかけてでもその方向へ進めるべきである。併設型が難しいのであれば連携型での検討をお願いしたい。
- 単位制を導入し成功させていくためにも中高一貫教育であると感じている。
- 中高一貫教育について、県は一貫して困難であるとしているが、中高一貫教育の方向で進めるとなれば市教育委員会の考えをしっかりと県へ伝えていくことも重要である。

（4）その他

- スケジュールありきで進むのであれば、要望や条件を示して、それに対し県からしっかりと回答をもらっていきよう進めていくべきである。
- 喜多方高校脇の県林業事務所の宿舍であった施設を活用し、東高校の記念館を整備してほしい。
- 東高校の施設を第二校舎として活用するよう要望する。
- 不登校の場合、通信制の高校へ行く生徒も多くいる。会津若松や郡山などもあるが、喜多方に通信制の高校があれば遠くに行かなくても通える。スポーツ科の導入とあわせて通信制の導入も検討してほしい。その場合、東高校の校舎が使えると思う。
- 少子化の状況は限界にきている。他の地域から喜多方へ子どもたちを呼び込むようにしていかなければならないし、他地域への流出を食い止めなければならない。
- 統合校の校名検討について、県内各地には100年を超える伝統校がそれぞれある。「喜多方」の名を残さなくてよいのか。校名がどのようなになるか不安を感じる。

2 耶麻農業高校と会津農林高校の統合について

(1) 農業教育に関すること

○農業高校の統合であるので、農業に対し農業高校をどんな位置づけとしていくのか、県教育委員会だけでなく県庁内の農政部門と十分な話し合いが行われるべきと考えている。

○この地域を農業でどうしていくのか。そのための農業高校のあり方について、市の農業関係部門、市内の農業関係機関、県の出先機関など、いろいろな立場の方から意見をいただければよいと思う。

○市内には農業関係、工業関係、商業関係の高校があるので、その高校間で連携できる取り組みが必要と思う。そうすることで、地域の方々との関わりが生まれ、農業高校の大切さなどが見えてくる。

(2) その他

○耶麻農業と会津農林の高校の統合は、市と町にある学校のため大変難しいと感じている。

○耶麻農業高校の生徒が会津農林の校舎で学ぶようになる場合、通学が大変になってくる。

○課題を抱えて耶麻農業に入学した生徒が、様々な活動を通して自信をもって卒業していくようになってきているが、統合後、新たな学校へ通うようになることに不安を感じている。

○可能であれば、統合後の2年生、3年生は、卒業するまでそのままの学校で学んでいくことができないか。そうすることで、生徒たちも安心できて、通学手段も大きく変わることがなく通うことができると思う。子どものことを第一に考えていく必要がある。